

こんかいのゾーン

SCHEDULE

日付	予定
5/16 水	定例ミーティング
5/17 木	
5/18 金	
5/19 土	五月祭
5/20 日	五月祭
5/21 月	
5/22 火	
5/23 水	定例ミーティング

こんかいの読書案内

鳴海邦碩(1990)『都市・集まって住む形』朝日新聞社

都市や建築に関わる研究者複数人が様々な集まって住む形について紹介する本。宗教的な方向性、軸、配置を持つ原初的な集落から、区画整理を施されつつも、伝統的な集落、家屋の在り方を残す街、様々な家族が集まり、共同的に暮らす集合住宅など、世界各地の事例によって、多くの形が示される。都市は、人が集まって住むものであるが、そこには多くのメリットがある反面、コンフリクトも存在する。どのような形によってメリットを増幅させ、どのような形、様式でコンフリクトを克服するのか。我々の知らない「集まって住む形」は世界に多く存在し、それらは膨大なヒントを持つ。町家を超える都市的住宅の求められる現在において、このような探求が求められるだろう。



5月6日、ゴールデンウィーク最終日。文京区根津の藍染大通りで行われた「あいそめ市」にて、プランター販売や収穫体験を実施しました。

一日を通してとにかく目立ったのは子どもたちの姿です。都会で暮らしている子どもたちの目に生きた野菜の姿は新鮮に映るのでしょう。特にネギ坊主を掲げて凛と立つタマネギの姿はかなり異様で、みんな興味津々。しりもちをつきそうになりながらも、一所懸命引っっこ抜いていました。収穫だけでなく水やりをしてくれたり、保育園で育てていた野菜の話をしてくれたり、掃除を手伝ってくれたり、小さなお手伝いさんのおかげで暑さや疲れも吹き飛びました。

さて、5月はトマト、なす、とうもろこし、パプリカ、キュウリといったあらゆる夏野菜の苗植えシーズン。まちかどでの野菜作りを始めるには絶好のタイミングということで、いろいろな夏野菜の苗が植わったプランターを丸ごと展示・販売してみました。重くかさばるプランターを即決購入する方は残念ながらいませんでしたが、自宅で育てている、以前育てようとしたが失敗した、昔小学校で育てていたなど、立ち寄ってくださった方々からは栽培にまつわる様々なエピソードを伺うことができました。

ベジタの目的は、まちの方々の声を聞きつつまちかどでの野菜作りにつなげていくことにあります。神田、千葉、根津と3回のベジタを通して、野菜作りには子どもからお年寄りまであらゆる人を巻き込む可能性があること、都会では野菜の緑が風景としても安らぎを与えうることが確認できました。いよいよこれからはこのような風景をイベント時に限定された非日常的なものから日常的なものにしていく段階です。

まだまだ寄せにわプロジェクトは始まったばかり。まちの方々と一緒に考え、汗を流し、プロジェクトを進めていきたいと思えます。

こんかいの一言▽井上：リーディング大学院の合宿で泊まった東大の山中寮が綺麗でした。▽櫻本：暑かったり寒かったりで大変です。五月祭雨の予報で震えてます。▽木村：横浜中華街にある横浜関帝廟に開運ろうそくをお供えしてきました。▽原：研究室のプロジェクトで行った内子では、飲めば飲むほど地元の方に気に入られました。幸せです。▽秋月：GWの秩父は無料のシャトルバスが使いやすかったです。